

羽曳野市長 北川嗣雄様
担当部様

2013 年 5 月 21 日

日本共産党市会議員団

若林 信一 嶋田 丘
笹井 喜世子 廣瀬 公代

緊急風しん予防対策事業の実施について

風しんは、妊娠初期の女性が罹患すると、出生児が先天性風しん症候群を発症することがあることが指摘されており、大阪府でもすでに昨年以降、2名の方が確認されています。また、府内の風しん感染者数が3週連続で全国ワースト1を記録するとともに、前年同期の30倍にのぼっています。

今般、風しんの流行という深刻な状況を受け、大阪府では「風しん流行緊急事態」を宣言されたところです。

風しんの有効な予防策は予防接種であり、先天性風しん症候群を防止するには、妊娠を希望する女性に併せ、妊婦と生活する配偶者の接種促進が必要です。

実際に、首都圏では自治体による助成が始まっており、一定感染者報告数の伸びが鈍化しています。

この状況の中、大阪府は、先天性風しん症候群の発症を防止するため、予防接種の費用を緊急助成する方向を打ち出し、市町村において、予防接種助成の要請もされています。

これを受け、羽曳野市においても風しんの流行拡大を防止し、妊婦と赤ちゃんの健康を守るため、緊急対策として、予防接種費用の助成を早急に実施していただきたく要望します。

以上